
発足！ツンデレ語研究会！

佐藤佑

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

発足！ツンデレ語研究会！

【Nコード】

N2487X

【作者名】

佐藤佑

【あらすじ】

ツンデレ語研究会！略して【つんけん！】バンドはしないよ！ツンケン「ツンデレ語辞典の開発」をしているところです。新入部員大歓迎なのでどしどし来てくださいね！

ツンケン発足！（前書き）

人の心が少しぐらひは読めないところな大人になれない気がしてきた。

ツンケン発足!

ついにこの時がやってきた!

俺はこの春を待っていたんだ!

新入生の入学式を狙って俺はさっそうと登場する!

なんて、かっこよく意気込んでるバカが一人。

そしてついにバカが壇上に乱入してしまった。

「俺!桜貝は!ツンデレ語研究会の発足とツンデレ語辞典の開発をここに宣言する!」

「黙れ桜貝!」

「さくらがいていうな!って・・・うわあああああ!!!」

そして、がたいのいい数学教師に首根っこを引っ掴まれ、

呆気なく退場とさせられた馬鹿独り。

そしてその放課後・・・体育館裏にて。

「よし」

性懲りもなくまだ続けるのかね。

「続けるも何も言っちゃまったんだからやるしかないだろ。」

つつても、部室がないのに・・・

場所も分らないだろうし。

「ふふふ、俺のチラシは廊下中に貼ってある。もちろん全てあぶり出しのチラシをな!」

それならさっき「あ、真っ白な紙?もったいないな。」って誰かがはがしてた気が・・・

「のおおおおお○○○!」

おっと?人が来たのか?こんな体育館裏に・・・

「お!新入部員の方?いらっしゃーい!」

あらら・・・こりゃ災難だな。

「おじゃましまーす。」

聞こえるのは野太い声。

がたいのいい（以下略）の声だ。

「ここで、ツンケンツンケンの活動中か？」

「いえいえいえいえいえいえ！帰る途中です！」

「じゃあ俺が家まで送ってってやろう。」

「いえ結構です！さよならー！」

逃げた逃げた。

さてと、疲れたし今日は追いかけるのやめようかね。

がたいの（以下略）もどこかへ行っただし。

「あのーすみませーん。漫画研究会ってここですかー？」

マジで人が来ちゃったよ。

あいつ・・・タイミング悪いなー

「なんだか先生の反応がおかしかったけどこう言う事だったのかな
？」

反応？あーその先生とやらあいつのツンケンと漫研を間違えたのか。

「まだ探したら見つかるかな？今日は帰ろうかな・・・」

あらら、どっかいっちまった。

あ・・・さっきの奴の何かが落ちてる。

まあいっか。関係ないしな。

幸い今日は雨も降らなそうだし、あいつが明日にでも気づくだろう。

今年は騒がしくなりそうだな。

と、体育館裏の屋根の上でつぶやいた。

ツンケン発足！（後書き）

次回は講義1【常套句「ベ・・・別に」】と【好き＋否定形】を予定しています。しかし！予定は未定！他には【義理チョコ】や【お弁当の食べ方】等を予定しています。しかし！予定は（以下略）

馬鹿の方程式と謎の少女（前書き）

暇な文芸部でやっと書く気になった。
から素晴らしい予定は未定っぷり。

馬鹿の方程式と謎の少女

さてと、がたいのいい体育教師の目を盗んでこんなところまで用意して：

おまえはまったくバカと言うかなんというか：

「馬鹿とかいうんじゃないやねえよ！そもそもバカっていうのはだな！

人外という意味があつて！

人外Ⅱ人でない者Ⅱ超厨Ⅱ！！

という方程式が：

はいはい、うるさいやつの講釈は置いておいて
つてお前ちゃんとあれ拾ってきたのか。

「ああ、このことね。

今日体育館裏に行ったら落ちててさ！

いやー雨が降らなくて本当によかったよ！」

まあ、お前の作ったチラシであることは言わないほうがよさそうだな。

「す…すみませ〜ん！」

あ？ああ、昨日のあの子か。

「はい？何でしょうか？」

「ここ…」

ここ？

「文芸部ですか！？」

「どうしてそうなった？」

はあ？マンケンならまだしも文芸部と間違えるって…
一体どうなってるんだ？

「…あつその紙…！」

つて…目ざといないやつ。

ちよっと部員にほしいかもな…

「え？」

「では！さようならー！！」

あっ行っちゃった：

「もっとバカになっておけばよかったかな…」

ふっ。バカは確かにすげえからな。

馬鹿の方程式と謎の少女（後書き）

うーわggdggdw

さてとまた気が向いたら更新しますわ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2487x/>

発足！ツンデレ語研究会！

2011年12月20日17時52分発行